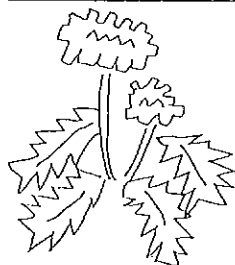


NO 1 0 7
 H 8 年 5 月 1 日
 一 発 行 一
 〒 8 6 9 - 1 2
 熊 本 県 菊 池 郡
 大 津 町 森 5 4 - 2
 社 会 福 祉 法 人
 三 気 の 会
 三 気 の 里
 ☎ 0 9 6 - 2 9 3 - 8 1 0 0



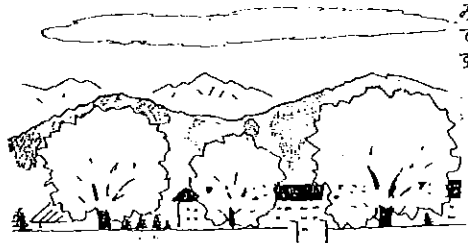
桜

理事長 田中 稔

昨冬が大変寒かったせいでしょうが、今年の桜の咲きぶりは例年になく見事なものでした。テレビの中継を見ておりますと概ね全国的に桜の名所と言われるような所の咲き方も良かったようです。学生時代に訪れた吉野山の見事だった桜を思い出しました。桜が私達日本人にとって印象深いのは、花の思い出とともにある人生の思い出、とりわけ人生の節目となるようなものが重なっているからではないでしょうか。それこそ随分久しぶりに家内と熊本城の桜を見に行きました。御幸坂から天守閣を見上げると花の雲の上に浮かんでいるように見えました。どの木の下でも家族連れやグループが食事、酒、カラオケ等を楽しんでおられました。子供が障害児であることが分かってから「子育て」に追わ

れて、周りを見ることや生活を楽しむ、ゆとりを忘れていました。若い保護者の方の表情を見ていると私達が若かった頃の事が重なって思い出されます。人生においても、仕事においても、これからという若い時には、ゆとりは無理なかもしれません。時の流れが必要であったということでしょうか。それでは子供を早い頃、幼小児期から児童施設にでも入所させて自分たちの生活、人生を楽しみ生き方もあったかという、それはなかったと思います。障害児を持つたという人生、子供と一緒に人生を一生懸命に生きないで、自分本位の人生を楽しんだとしても、虚ろな楽しみしか残せなかったのではないのでしょうか。一つのことを受け入れて頑張ることが出来ない者が、他の生き方を選んだとしても、手ごたえのある命の麗えるような人生を送れるとは思えません。

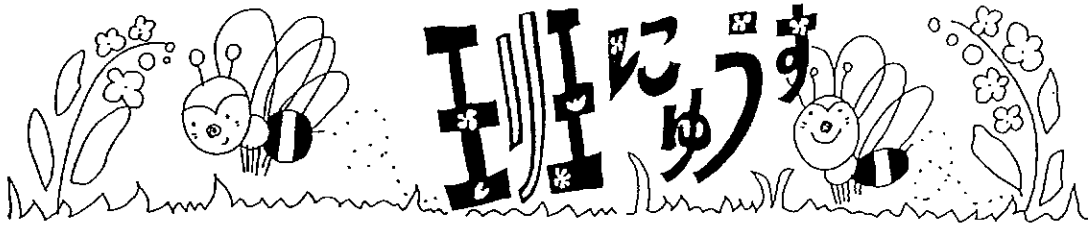
桜の木を普及させる事をされている会から苗木を百本ほどいただきました。「三気の里」は五千坪の敷地があります。入園生一人一人の名札を付けて園いっばいに植えました。これらの木は園生と職員と保護者の人生を見続けながら大きくなっていきます。後二〇年になると「三気の里」は桜の名所になり、花見が出来るようになります。楽しみです。



一のん気 - こん気 - げん気

▽先日、春の香に誘われて阿蘇仙酔峽を訪れた。旭が春とは名ばかりで、仙酔峽より望む頂きには雪化粧で高岳が雄々しく、登山者の行く手を阻んだ。ロープウエーの係の方が、高岳に雪が残る間は、春も遅いと話し掛けてきた。観客の少ない美麗の阿蘇を一人占めしながらそんな遅い春を実感して帰ってきた。▽遅い春は嬉しい珍事をもたらしてくれた。咲き始めた桜が、花冷えよろしくじっと耐え、長い間私たちを楽しませてくれた。今も峠には遅い桜が、たくさんの人を招いているようだ。▽春は、新たな出会いももたらしている。三気の里の新年度は変則6班集体でスタートを迎えた。旧年は、園生20名以上の班が、動きを重くしていたため、フットワークを軽くしたいと言う思惑で、園生9名と16名の間で班が構成されることとなった。また各班に4名と6名の職員（非常勤職員を含む）が配置され、新たな職員が初々しく立ち働く姿を垣間見ている、時の流れと初心を戒めていた。





1班 - ようこそ鞍岳登山へ

春は名ばかりの4月4日、お見知り遠足よろしく、新入所のシーちゃんこと静海サンを迎えて初めての登山に出かけました。厨房職員として、今春採用された、登山には覚えのあると言う堀尾さんも同行し楽しい？登山となりました。

園生11名・職員5名の総勢16名は、山から吹き下ろす風が冬を思わせるような厳しい中での登山となりました。初めこそは、皆の速度に合わせていたシーちゃんも次第に遅れ、足下のはっきりしない中で懸命に歩いていました。おいてけぼりのになると不安から、一層足取りが重くなったようです。皆に遅れる事30分、ようやく目標地点の水場に到着するや、首を長くして待っていた皆を前に、御機嫌な表情で「御昼は？」と言う言葉に一同哑然でした。そそくさと昼食を済ませ、長居は無用と下山を開始。慣れた園生は、走るように降り着きました。シーちゃんは、帰路は慣れも手伝って早くなっていました。秋の登山では、きっと軽快な足を見せてくれる事でしょう。

冷えた体を暖めようと、旭志村の四季の里で、私たちの貸切状態でのんびり温泉に浸かり過ごすことが出来ました。プールと間違っ泳いでいたのは、決して皆だけでは無かった事を告白しておきます。御免なさい。

坂井

2班A - はじめまして

はじめまして、今年度より新たに誕生した2班Aです。9名の園生で構成され、少ないメンバーではありますが、個性豊かな明るく楽しい人達ばかりです。新メンバーを紹介すると、まず最初は3班からきた博美ちゃん・昭子さん・ミドリさんの三人娘(!?)笑顔のとってもかわいい人達です。次は、忠犬くん・宣陽さん・幸恵さん、ネット折りセットなら任せての人達です。又、おしゃべり大好き愉快なルリ子さんに晃子さん。最後は行夫さん、少し照れ屋だけど頼りになる彼です。

作業は、現在ネット折り作業を行っています。ネットをおる人、セットする人、セット出来たものをチェックする人と仕事を分担し作業を行っています。今は、ネット作業を行っていますが、今後は小物作り、納豆のつと作りと色々な作業に挑戦するつもりです。

今年は試行錯誤の一年になりそうです。皆の新たな一面が発見出来るのがとても楽しみです。山中

2班B - はじめました

2班の作業棟は民さんのつんでくれた蓮華草、すみれ、菜の花ですっかり春の装いです。B班13名プラス豊田さんで新年度のスタートを機にいろいろな取り組みを始めました。まず、聡ちゃんはつつを使ってネットの口を揃える練習を、由布子ちゃんは午前中にネットを5個ずつ組む作業に加え、ネットは破れてないか？ネットの口は揃っているか？ゴミはついていないか？のチェックの仕事を、まーちゃんは一人でも作業に取り組めるようにチェックボードの使用を始めました。又、龍ちゃん・泰彰くん、明日香ちゃん・由布子ちゃんの新しいコンビも結成され、更なる成長に期待を膨らます職員一同です。

みんなへの期待に負けないように頑張ろうね。

石丸

3 班 - 新木工班

新年度が始まり各班で移動がありました。旧3班(木工班)のメンバーであった、ミドリさん・博美ちゃん・昭子さんの3人が、新しくできた2班Aグループに、久美加ちゃんが5班(園芸班)へといく事になりました。木工班に居た全女性が移動した為、現在男性16名の班になり、人数が減った事に伴い松下指導員も木工班から2班Aグループへ移動となりました。木工班から他の班へいっても、これまで通り頑張って仲良くやってもらいたいと思います。木工班からは出ていくばかりかと思うでしょうが、実は非常勤職員で新しく八木さんという女性職員が木工班へと入ってきてくれました。明るくて、きれいな女性ですので木工班の男性たちは喜んでくれる事でしょう。早く慣れてもらいたいと思います。11日の日にさっそく新木工班のメンバーで桜の花見に出掛けました。桜前線も東北方面までいっているらしいのですが阿蘇は寒かった!!まだ2~3分咲きで、見ごろはもう少し“残念”。しかし、日差しは春の陽気を伝えてくれる楽しい1日でした。

新木工班を今年度もよろしくお願ひします。

田之上

4 班 - 新生！農耕班

4月の半ばも過ぎようとしているにもかかわらず、花冷えのする日が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、わが農耕班でもH8年度のスタートに当たり若干のメンバー変更がありましたので、お知らせします。

まずお伝えしなければならないことは、三気の里の開所以来農耕班の主力メンバーとして活躍していただいていた、山中指導員の2班Aへの移動に伴い、担当園生の桜木君を溝原指導員へ、守屋君・中村功君を高田指導員へ、森君を麻生指導員へ引き継ぎました。変更のあった園生の皆さんは一日も早く新しい担当職員と仲良くなってもらいたいと思います。また、山中指導員には2班Aに移動になってからも頑張っていただきたいと思います。その移動に伴って…と言う訳ではないのですが、昨年クモ膜下出血で入院後、退院して園内でリハビリ中だった有働さんが、動きは普通の生活に全く支障のないようになっていたのですが、作業的には農耕の作業は少し無理があるだろうということで、2班Aに移動になりました。実家が農家の有働さんは農耕の技術としてはすばらしいものを持っていらしただけに、残念ではあるのですが、これからは一層健康に留意されて、新しい作業班でも頑張っていたいただきたいと思います。

新生！農耕班、園生17名、職員4名+中山君で頑張るぞー！ファイトー

木下

5 班 - 山が笑うほど忙しい？

山が笑うと言われるように新緑の美しい季節となり、私たち園芸班も忙しくなってきました。種まきだけでも、花は花壇用、押し花やドライフラワー等の加工用etcとありますし、ハーブでは入浴剤用、お茶用、ポプリ用と多種多彩です。又、お茶用の野草もこの季節に一番多く採取しますし、他にも花壇の手入れ等が加わります。このように書きますと何だかとてもない量の作業をこなしているような感じですが、その実みんながいろいろな作業に慣れてきてくれますし、黙々と頑張ってくれるお陰で割とスムーズにこなせています。(職員の方の段取りがみんなのペースに追いつけない程です)

又、タキロン張りの温室ができましたので4月から洋蘭の栽培にも取り組み始めました。まだ株も少なく先は未知数ですが少しずつでも増していけたらよいと考えています。

本来、花や植物、絵画等のうつくしさは心にゆとりがあってこそ感じられるものだと思いますので、皆と一緒に心にゆとりを持って楽しみながら頑張っていきたいと思う今日このごろです。

終わりに御家庭に不用の洋蘭の株等がありましたら御寄付ください。よろしくお願ひ申し上げます。

東

療育雑誌記

勘違い

指導員・坂井省英

リン・リン、ピー・ピーとけたたましい音が複雑に絡みあったように、激しく鳴動している。心臓の凍てつくような動揺を覚えた。就寝の点呼が終わり夜勤者に申し送りを伝え終え、一服している時の事であった。

火災報知器が火災を知らせている音である。場所は1階東側のランプが点灯、現場に急行、どの報知器も異常が見られない。悪戯ではない。

就寝に入ったばかりのことで、一部の園生は布団を抱えて中庭に避難をしていた。誤報と判り、園生には寝るように促し、誤報の原因を探った。場所が特定できない。洗濯室周辺らしい事だけは判ったものの、はっきりしない。以前も同様に報知器が鳴動していた事、その日も雨天時で洗濯室は茹だるような熱さ(乾燥機の熱が原因)で、いつの間にかそれが原因であるのかの間に伝わっていた。換気を早速行い、防災業者に連絡し事後の処理を尋ねた。まず感知機の

ランプの点灯を確認し、ランプがついていたらそれを外すようにと言う指示であった。何度確認しても、点灯した感知機は見つからず、その後何度となく、1階東側のランプが点灯し、鳴動を続ける為、防災の方にご足労頂いた。期せずして、非常ベルが鳴動、すぐに感知機は発見できた。1階浴室前の感知機が点灯していた。それを外し、部品を新しいものと交換された。洗濯室でも換気不足によるものでもなかった。感知機のお朽化の為せる業だった。

防災担当の方の指示が何故、スムーズに伝わらなかったのか、私の精神状態もパニック状態で、非常時に即応する冷静な判断を欠いていた。パニックは火災報知器のコントロールパネルの誤作動を引き起こし、的確な情報を得られなかった。それを上塗りするかのよう

に、防災装置は当てにならない物という風潮が心の片隅に巣食っていたのも事実である。また鳴動時、感知機が点灯していた事を確認していた職員も居た。情報の收拾も出来なかったわけである。思い込みとコミュニケーション不足が引き起こした事例であった。

特に、手薄になる夜の火災は大切な人命の危機に直結している。それが故に使える機能は最大限に活用しなければならぬ。

最近、職員朝礼と言う話し合う機会の機能低下が著しい。それを補おうと昼礼をしようとの声も上がっている。まずは、話を、コミュニケーションを大事にしたいものである。

今回は、少々硬い療育雑誌だったが、重要な人命に関しての事で、外せなかった。夜遅く、駆けつけて頂いた西日本防災の方々には、大変迷惑を御掛けしました。これを教訓に防災装置の確実な利用を心掛けたいと思います。

新人人職員紹介
堀尾純子
尚綱短期大学を卒業して、4月から厨房で働いています。とても親切な先輩方の御指導のもと頑張っていきます。まだ分からないことばかりで迷惑をかけることがありますがよろしくお願いします。



豊田輝子

「園生達と楽しく過ごせそう」そんな第一印象からスタートしました。一日一日を大切に明るい心で取り組みたいと思います。

「夢屋(みどり)」開所式

高田一通

阿蘇郡一の宮町で、郡内初の民間運営作業所「夢屋」の開所式が4月17日(水)に、同所で行われました。

この作業所は、三気の里の園生、猛君の両親が地域住民との触れ合う場を作りたいたとして昨年4月から準備を始めていたもので、1年間の歳月を隔て、ようやく開所することになりました。

開所式には猛君も参加し、「開所式、おめでとうございます。猛も三気の里で頑張っています。」とお祝いの言葉を述べました。作業所では、パンを焼いて販売されるそうです。皆さんも一度足を運ばれてはいかががでしょうか。とてもおもしろかったですよ！

野々島学園開園式・入園式

田邊 剛政

平成8年4月8日(月)、自閉性障害を伴う知的障害を対象とした、精神薄弱者授産施設野々島学園の開園式・入園式が行われた。施設長が元三気の里施設長であった土井先生ということもあり当園から16名の職員と1名の園生が出席した。園生の松島さんが三気の里を代表してお祝いの言葉を述べたが、練習の滑らかな口調も本番では緊張してか聞いている私達がハラハラしながらの祝辞であった。施設は合志町野々島にあり竹林や田畑に囲まれ、閑静な佇を呈していた。障害者にとってはこの上ない作業環境の場と思われ、ここから大きく社会へ羽ばたく人が出てくることを祈念する。

食養生学白業中

正職員として厨房で働き始めてまだ半月ですが、とても親切でもしるい先輩方のおかげで楽しく仕事をさせて頂いています。しかし、まだ少ししか仕事に慣れていないため動きは鈍く、迷惑をかけているのも事実です。また、4月の始めには一班から三班のレクリ

エーションについて行き、指導員をはじめ園生との交流を深め、特に園生の顔と名前を覚えることに励みました。でもなかなか覚えることは難しいものです。これから一人ずつ地道に覚えていきたいと思えます。

堀尾

菜羹の話

「木綿と絹ごし」

知らなかった本当の違い」豆腐は主に木綿と絹ごしの二つがあります。でも意外と知られていないのが二つの豆腐の栄養価の違い。

木綿豆腐は、つくられる過程で上ずみ液がしぼりとられるのですが、実は二つの液の中には大豆に含まれるビタミンBやビタミンB2等が溶け出ているのです。例えば、100g中に含まれるビタミンBの量を比較すると、絹ごしが明らかに上まわっています。しかし、木綿には絹ごしを凝縮して作っている分、タンパク質やカルシウム、鉄分、カロリー等が豊富です。(その他の成分も絹ごしの1.5倍くらいあるのです。)これからはひとつ、おいしさや調理の仕方だけでなく栄養の違いからも種類を選び分けてみてはいかがでしょうか。前田

第1回自閉症療育実践セミナー

(めぶき園 開園5周年記念)

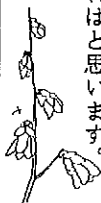
スポーツ大会

麻生 由紀

山口 裕之

去る、3月25日に大分県総合福祉会館にて、社会福祉法人萌葱の郷めぶき園の主催のもと、第1回自閉症療育実践セミナーが行われました。そこでは、石井哲夫先生の受容的交流理論に基づく自閉症理解の核心という題でお話を聞くことが出来、また、めぶき園の一日ということでビデオ放映も行われ、充実した一日でした。

このような研修会を通し、これから私達が利用者に対しより良い援助が出来ればと思います。



この区間を受け持ち走った。また、大津高校の生徒やボイスカウトらがボランティアとして、競技の進行を手伝った。

大津町でスペシャル駅伝

知的障害者が快走

県内で唯一の知的障害者「ア(小原忠雄会長)が「障」による「スペシャル駅伝大」害者の自立を支援しよう」

会)が七日、菊池郡大津町と主催しているもので、今のオークス広場で開かれ、回で三回目。町内四つの施設。出場者たちは保護者やボランティアらの温かい声援を受け、懸命の力走を見せた。

肥後大津ロータリークラブ 各自五十斤から二百斤まで

開会式では「三気の里」の伊石さゆりさん(母)が「受け持った区間を最初から最後まで頑張ることを誓います」と選手宣誓。選手の中には途中で歩いたり、転んだりする人もいたが、施設職員らの伴走で、全員見事完走を果たした。

熊本日日新聞

平成8年4月8日掲載より

5月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
4月27日(土)~5月6日(日)春季住宅訓練 A 富田さん・久美ちゃん・藤ちゃん・芝吾くん・高田くん・英くん・ 松島さん・櫻村くん・貴ちゃん			1	2 富田さんの誕生日(51)	3	4 井口さんの誕生日(25)	
5 5月 石崎くんの誕生日(28) 芝吾くんの誕生日(19)	6 春季住宅訓練 (4/27~5/6まで)	7 高田くんの誕生日(23)	8 英くんの誕生日(30)	9	10 ゆうあいピック	11	
12 松島さんの誕生日(57)	13	14 櫻村くんの誕生日(26) 貴ちゃんの誕生日(23)	15	16	17 登山	18 保護者会・斉賀宅印	
19	20	21	22	23	24 たんぽぽ音楽日	25	
26 開園祭	27	28	29	30	31	10日(金)ゆうあいピック 18日(土)保護者会・斉賀宅印 26日(日)開園祭	



新人職員紹介②

八木良江

3班木工班に入りました、八木良江です。今までの生活と違って突然若い男の子たちに囲まれて幸せ(ニ)です。

まだまだ慣れない事だらけですけど園生の皆と毎日楽しく過ごして行きたいです。



緒方真紀

はじめまして。今年短大を卒業し、指導員として勤務します『緒方真紀』です。何もわかりませんが、一生懸命頑張るつもりです。どうぞよろしくお願いします。

中山天野人

あまのてんや

やる気と体力だけしか良い点はありませんが、頑張りますのでよろしくお願いします。



ボランティア通信

春の気配が感じられ、暖かいそよ風が心地よく、大変過ごしやすい季節となりましたが皆様はいかがお過ごしでしょうか。園内では、タンポポや金盞花の花が咲き誇り私達の目を楽しませてくれます。

さて、今年も三気の里では皆様のお越しをお待ちしております。園生と共に作業をしたい方、伸び伸びと元氣よく遊びたい方は是非お越し下さい。もちろん見学でもかまいません。彼らの“元氣パワー”を受け、はつらつとした気分になってみませんか。

詳しくはボランティア担当、石丸、佐藤、満原までご連絡下さい。

満原

へボランティアありがとうございます

☆ブラッシング指導 森 隆子

☆散髪 源造 順・田畑 美智子

☆生け花 西村 栄子

編集後記

とにかく、初めての編集で何をしようか分からないうまま始めに高田さんと文章の読み合わせをしました。誤字を見つけたための大切な仕事で緊張しました。

堀尾